

消防団活動へのご協力をお願いします

■消防団に入団しませんか！

消防団は、「自らの地域は自らが守る」という使命感を持った団員が、火災や風水害などから地域住民の生命・財産を守るために活動しています。しかし、過疎化や就業構造の変化などで、団員の数が減少傾向にあります。

近年、大地震や豪雨などによる災害が全国各地で起きていますが、本市でもいつこのような災害が発生するかわかりません。“いざ”というときには、消防団の力が必要となります。皆さんも、地域を災害などから守るために、消防団に入団しませんか。

- 入団資格＝市内在住で、18歳以上の健康な人（男女は問いません）。
- 活動内容＝火災や風水害などの防御や被害の軽減活動、各種訓練への参加など。

- 入団方法＝電話で本庁・防災交通課または各支所・総務振興課へご連絡ください。
- 入 団 日＝平成22年4月1日（予定）。



■市民の皆さんや各事業所のご協力を！

消防団員は、市民の生命・財産を守るため、火災時等の緊急出動や各種訓練などを行っています。団員の確保や、円滑な活動・訓練に対する市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

また近年、事業所に勤務する団員の割合が高くなっており、地域の消防・防災力の維持・向上を図るためには、各事業所の協力が必要不可欠です。消防団活動に対する、各事業所のご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】本庁・防災交通課防災消防係(内線1232)

『天草市宝島クーポン券』の2次募集を行います！

第2回「天草市宝島クーポン券」の2次募集を行います。1次の予約において、予定冊数に達していないため、2次の予約申し込みを受け付けます。なお今回は、1次に応募した人は申し込みできません。



- 販売予定冊数＝本渡商工会議所地域1,000冊
牛深商工会議所地域5,000冊
天草市商工会地域 8,000冊
- 応募場所＝各商工会議所、市商工会（各支所）、市役所本庁・各支所・出張所、本渡地区の各公民館に設置してある応募箱に入れてください。時間は、午前8時30分から午後5時まで。 ※郵送の場合は、12月10日(土)の消印有効です。 ※販売場所などについては、後日送付する引換券に記載します。
- 販売方法は、1次の申し込みと同じです。 「市政だより天草」おしらせ版10月15日号6ページをご覧ください。
- 応募期間＝12月1日(土)から同10日(土)まで（土・日曜日を除く）。

【問い合わせ先】市宝島クーポン券実行委員会事務局(本庁[別館]・商工観光課内)内線2551
本渡商工会議所 ☎③2001 / 牛深商工会議所 ☎③3141 / 天草市商工会 ☎③2525



年金情報

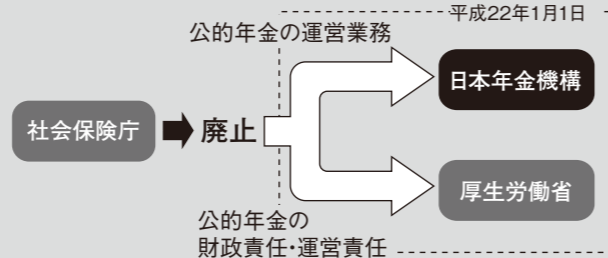
国民の皆さんの信頼にこたえ、いっそうのサービス向上の実現を旨とするため、平成22年1月1日(金)から現在の社会保険庁が廃止され、『日本年金機構』として生まれ変わります。

■現在ある、お近くの社会保険事務所は、新たに「年金事務所」へと名称が変更になりますが、年金相談などの窓口として、引き続き利用できます。また、現在の社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。

■これまで、社会保険庁や社会保険事務所の名義で案内していた各種の関係書類は、内容により厚生労働省または日本年金機構の名義で案内させていただきますが、皆さんの手続きは一切不要です。

～日本年金機構が設立されます～

■日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行うこととなります。ですから、今後も公的年金制度は国の制度として、その財政や運営に国が引き続き責任を持つことについては、これまでと変わりありません。



【問い合わせ先】
本渡社会保険事務所 ☎④2112
本庁・保険年金課国民年金係(内線1136)



図書館へ行こう！

～中央図書館からのお知らせ～

【市立図書館ホームページ】
<http://www.lib.city.amakusa.kumamoto.jp/>
【問い合わせ先】中央図書館 ☎③7001・FAX③7013

今回は、「子ども読書フェスティバル」で講演される、絵本作家・長谷川義史さんのおもな作品を紹介します。

なお、現在同フェスティバルの参加者を募集しています。希望する人は、電話（中央図書館 ☎③7001のみ）または直接、次のいずれ

かの図書館の窓口へお申し込みください。
●中央図書館 ●牛深図書館 ●御所浦図書館 ●河浦図書館。

【子ども読書フェスティバル日程】
●と き＝12月19日(土)午後1時30分から。
●と ころ＝天草市民センター展示ホール。



〈長谷川義史さんの絵本紹介〉



いいからいいから
「いいからいいから」が口ぐせのおいしいちゃんと孫の、ユーモラス絵本。雷親子や幽霊さんと「いいからいいから」。シリーズ3あり。



おいしいちゃんのおいしいちゃん
ほくにはお父さん。お父さんにはお父さん、つまりおいしいちゃん。おいしいちゃんには、さらにおいしいちゃんがいて…命のつながりを考える絵本。



ぼくがラーメンたべるとき
ぼくがラーメンをたべているとき、世界ではいろんなことが起きている。



パンやのろくちゃん
「かおがパンパン パンやのろくちゃん」とリズムよいおはなし絵本。商店街で、ろくちゃんは今日も元気。

【その他の作品】
《絵本》 ●いってみたーい どこどこ ●やまださんちのてんきよほう ●うえへまいるあす ●てんごくのおとうちゃん
《児童書・その他》 ●ストーブのふゆやすみ ●おでんおんせんにく ●かめきちのたてこもり大作戦 ●うん このあかちゃん など

中央図書館では、同フェスティバルにあわせて絵本などを展示します。皆さん、ぜひご覧ください。

